

# 一般質問発言通告書

発言順位 4番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 2月 14日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 11 番 古長谷 稔

質問事項 1	ごみ処理施設広域化の実現に向けた取り組みについて
具体的内容	廃棄物処理法第6条2において、ごみ処理は市町村が責任をもって行うこととされている。一般廃棄物処理施設広域化実現可能性調査を踏まえ、ごみ焼却施設広域化の3市2町の枠組みについて、昨年末12月16日の事務方レベルの連絡会において、枠組み決定時期が令和7年度まで先送りされた。連絡会議事録によれば、三島市、熱海市、函南町が広域化に参加する意思を示したものの、候補地選定後に判断するとする長泉町と、現時点では判断できないとした裾野市が態度を保留したことがわかる。施設規模や費用負担において広域化にはメリットがある一方、候補地選定や収集運搬の費用分担など課題も多い。今後、一年間かけて、建設候補地選定を進める方針とのことだが、水面下で熱海市が建設候補地を挙げているとの報道もある中で、3市2町の中で人口が最大で、全焼却ごみの約3分の1を占め、空間的にも重心に位置する三島市としてリーダーシップが求められる。人口減少に加えて、ごみ排出量の減少も見込まれる中、今の世代のことだけでなく、将来世代のことを考えながら、今後どのように取り組む方針かを伺う。
	1 候補地選定には、3市2町全体の市民に対するメリットデメリット、及びライフサイクルコストを比較する必要がある。三島市の考えを伺う。また連絡会等の議論で共有されているか。
	2 下水処理施設やし尿処理施設の汚泥を、集約化して焼却できる可能性を検討する考えの有無。
	3 広域化は、ごみ焼却施設に留まらず、粗大ごみ処理施設や資源化施設、最終処分場も含めて議論する必要がある。候補地選定に当たり検討すべきだが、現状と今後の考え方はどうか。
	4 三島市としての候補地選定に向けて、現在地か、新たな民有地か公有地か、購入か借用か、箱根山の組合用地は候補となりえるのか、公募も含めた今後の選定の考え方と工程を伺う。
	5 密接に関係する候補地選定と収集運搬費の費用分担について、国、県、三島市の考えを伺う。
	6 環境影響について、丁寧に住民理解を得る必要がある。市民への情報公開の考え方を伺う。
質問事項 2	伊豆半島の広域防災計画における三島市の位置づけについて
具体的内容	能登半島地震を踏まえ、伊豆半島の広域防災を再構築する動きが出てきている。7市6町(沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、西伊豆町、松崎町、函南町)による伊豆半島広域防災協議会が、1月25日、韮山時代劇場にてシンポジウムを開催し、広域の防災計画のたたき台が示された。能登半島の災害に学び、伊豆半島の防災を強化する方向性が、地震から約1年を経過して、ようやく動き出したことを評価する。その中で、三島市が果たすべき役割について、見解を伺う。
	1 ピーク時10万人を超すとされる伊豆半島に滞在する観光旅客、災害時、帰宅に向けて相当数が三島市を通過すると見込まれる。三島市としてどのように想定しているか。
	2 帰宅困難観光客の避難場所や一時滞留場所の提供、被害状況や公共交通機関の情報提供など、リアルな想定に基づき三島市地域防災計画を更新する必要があると考えるがいかがか。
質問事項 3	長伏グラウンドを含む長伏公園の天候に左右されにくい多目的利用について
具体的内容	大型遊具設置など長伏公園の整備計画が進行している。一方で、長伏グラウンドでは内外野の人工芝化、夜間照明設備のLED化など予算計上された。これらを踏まえて伺う。
	1 せっかく整備しても、気候や天候の良い時にしか使えないのは惜しい。長伏公園には、季節や天候によらないオールシーズン全天候で利用できる空間が必要と考えるがいかがか。
	2 長伏公園周辺を子育て世代が集う場所とすべく、長伏グラウンドについても野球関係者のみ利用する場所ではなく、多目的にステージやケータリングカーが導入できるようにすべきでは。